

4回にわたる都民アピール

都立定時制存続を③

都教委が地域での説明会開催要求を拒否し続けたため、私たちが「質問」し、都教委に「回答」を求める取組みをしました。2019年までは都庁内の会議室で対面での質疑が行われました。コロナ以降はそれもできなくなり、文書でのやり取りになりました。最近の2年間で4回も行いました。しかし、本当に聞きたいことに答えた回答は返ってきません。

都議会に対しては、2017年に雪谷定時制、2018年に江北定時制、2024年5月と2025年2月に立川定時制、2025年5月に7校の定時制、それぞれの存続を求める請願や陳情を行いました。そのたびに各会派を回って訴えましたが、残念ながら少数決になりました。

声明・アピール

学者や文化人の「共同声明」や「都民アピール」にも取り組みました。

第1回目は4校廃止案が出た2015年暮れに取り組んだ「共同声明」です。映画監督の山田洋次氏、写真家の石川文洋氏、弁護士の宇都宮健児氏、ノーベル化学賞受賞

の大村智氏、教育学者の堀尾輝久氏など125氏の連名でした。石川文洋さんは都立両国高校定時制の卒業生であり、大村智さんは定時制高校で教鞭をとっていた時がありました。2016年1月14日に初の記者会見を行いました。

2回目は2017年6月12日、3回目は2021年4月8日、4回目は2025年6月9日に「都民アピール」を出し、記者会見を行いました。アピールには、上記の他、教育学者の相田利雄・梅原利夫・太田政男・河路由佳・児美川孝一郎・進藤兵・本田由紀・山本由美の各氏も呼びかけ人になり、定時制や夜間中学のドキュメンタリー映画を監督した太田直子氏や森康行氏も名を連ねました。

私たちの取り組みとは別に、東京弁護士会は2016年2月、「夜間定時制高校4校の廃止に反対する会長声明」を発表しました。

ラジオ・テレビ

新聞や雑誌の他、ラジオやテレビでも報道されました。2017年10月12日文化放送「斉藤一美 ニュースワイドSAKIDORI」、2023年2月11日TOKYO FM「東京ニュースレディオ」、2025年6月22日BS-TBS「噂の東京マガジン」です。特に、「噂の東京マガジン」は大きな反響がありました。（多賀哲弥・元都立定時制高校教員）



2025年9月6日の集会で話す現役の定時制高校生